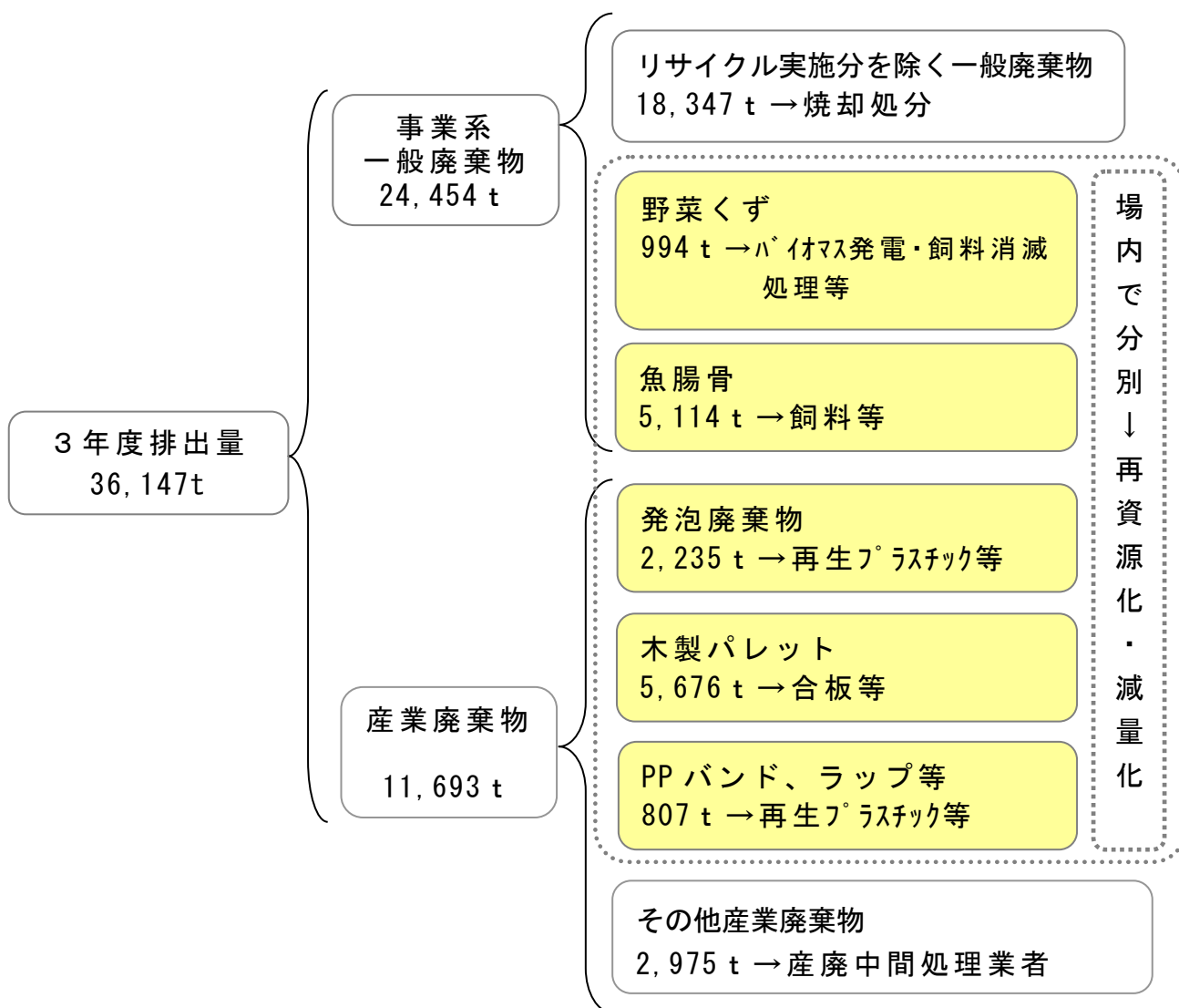


東京都中央卸売市場 廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



※廃棄物内訳は単位未満を四捨五入しており、内訳の合計と全体排出量が一致しない場合がある。

- 一般廃棄物の排出量は24,454トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは約75%の18,347トンです。野菜くずは994トン、魚腸骨は5,114トンが再資源化されており、段ボール(集計外)はほぼ全てが再資源化されています。
- 産業廃棄物の排出量は11,693トンであり、発泡廃棄物2,235トン、木製パレット5,676トン、PPバンドやラップ等807トンが主に場内で分別され、再資源化業者に持ち込まれています。これらを除く2,975トンは産業廃棄物中間処理業者へ持ち込まれ、分別のうえ再資源化やサーマルリサイクル(熱回収)等されています。
- 市場で排出された36,149トンの廃棄物のうち、野菜くず、魚腸骨、木製パレット、発泡廃棄物、PPバンド等の14,826トン(全体の約41%)は、主に場内で分別し再資源化業者に持ち込まれています。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。